

寺報

No.657

令和4年5月

蓮華寺
發行

御聖訓

貴きもあれ賤くもあれ、一切の
 菩薩・凡夫・二乗は法華經にて成
 佛得道なるべし。

『法華初心成佛鈔』



(解説)

時代が進み、我々の生活もめまぐるしくなり、今や十年ではなく、一年ひと昔とまでいわれるようになってきています。

その中で我々も周りを気にしながら、世間に遅れを取ってはいけなさと必死に生きている状態です。

しかし、お釈迦様は本来我々は仏様の心を持つているのだから、何もあせる事なく自分を見失わないようにして生きて欲しいと願います。

せっかく自分が仏様の心を持ちながらも、それに気付かず、ただ無駄に過ごしていくのは、誠に残念でなりません。

日蓮大聖人は、この世の総ての者は身分とかは関係なく、法華經・お題目を唱える事で成佛得道する事が出来るかと力説します。

つまり、我々はいかなる困難に出会っても、決して投げ出さず前向きに対応する事が大事なのです。

ですから誰からも評価を受けずとも、仏様の救いの道を信じ、そして常に仏様に見守られているという事に感謝し、精一杯生きていつて欲しいものです。

五月十三日(金)

午後一時より

於..大本堂

釈尊御降誕会 (花まつり)



*お釈迦様のお誕生日、甘茶の日です。
 *皆様で、甘茶をかけお祝いしましょう。
 *お供物も受け付けています。

龍神様と甘茶？

『釈尊御降誕会』は、お釈迦様がお生まれになったルンビニーという花園を再現し、花で美しく飾ったお堂の中央にお釈迦様の誕生のお姿のお像を安置し、その頭上に甘茶を注ぎ掛けてお祝いする所から『花まつり』といわれています。

甘茶を注ぐ理由は、お生まれになったばかりのお釈迦様が天と地を指して、

「天上天下唯我独尊」(天にも地にもただ我一人のみ尊し、尊い者となつて苦しむ人々を救おう)

と声高らかに叫んだ時に、天に住む『龍神』様が感激の余り、天から清らかな香水を降らし、お釈迦様の産湯に使わせたという説話からきています。

ここでも、『龍神』様が強いご守護を示しています。

我が国でも、昔は実際に五色の香水を作り使用していたようですが、江戸時代頃には甘茶を掛ける習慣に変わって来た模様です。

甘茶は、漢方薬の『アマチャ』の葉を煎じたもので、これを飲むと健康になるという所から、お釈迦様にあやかり、息災延命を願い使用した物と思われる。

龍神様のお力

今は亡くなりましたが、蓮華寺の信徒で靈感の強い方が、龍神様の事で以前、こういうお話をしてくれた事がありました。

「昔、当山の池は、蓮心寺から正覚寺、常光寺、更に善知鳥神社までつながっていて、そこを『龍神様』が自由自在に泳ぎ回っていたのです。

しかし、各々の都合により、池が埋め立てられていった為に、『龍神様』はその居場所を追われてしまったのです。

そこで、唯一埋め立てをしなかったこの蓮華寺の池に『龍神様』は引き寄せられ、住み着くようになりました。

そしてその時、『唯今より、私はこの法華経・お題目を唱えるお寺を守護する』と誓いを立てたのです。」

これは、この方が靈感で感得した事ではありません。しかし、皆様もご存知のように、青森空襲の時、蓮華寺が大火を免れる事が出来たのは、この『龍神様』のお力によるものだと言っても、過言ではないでしょう。

「水子さん」のご供養

当山境内地の雪も消えましたので、今年も新たに『水子観音様』専用の「風車」をご供養の為にお願いします。

一体七〇〇円で、葉の部分に【供養】が書き入れる事が出来ますので、ご希望の方は事務所までお申し付け下さい。

また、当山では、この世に生を受ける事なく仏様の世界に旅立たれました水子さん、また早くに亡くなられた子供さんのご供養の為に、境内に『観音様』を安置しています。

この『観音様』の台座の中には、施主の名前を書き入れました「法名紙」が奉納出来ます。

「水子」「子供」の戒名や俗名、また「水子一切の霊」などを書き入れてもらい、奉納します。

★本堂で法要を行いご供養した後、「法名紙」を観音像の中に奉納する場合。 【二万円】

★観音像の前で直接ご供養し、「法名紙」を奉納する場合。 【二万円】

詳しくは当山にお問い合わせ下さい。

檀信徒研修会のお知らせ

☆五月二十八日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間・・・午後七時より

場所・・・小本堂【イス席です】

持参品・・・聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

(注)研修会は休まず行いますので、ご参加は各自ご自由に自己管理のもとご参加下さい。

蓮華寺

『位牌壇』の募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎三年以上使用の方で、上位の位牌壇を希望する方は数がある限り無料でお譲り致します。

◎やむなく、ご親戚やご友人に譲渡する事も出来ませんが、その際はお寺に必ずご連絡下さい。

蓮華寺 TEL 七七六一五八四〇

『蓮華寺聖徒団総会』

中止のお知らせ

今年度は開催出来ると思っておりました『聖徒団定時総会』は、まだ続きます新型コロナウイルス感染拡大の影響で断念する事となりました。

この時期、参拝を受けてくれます寺院が見つかりませんでした。

今年楽しみにしていた方々には大変申し訳なく、心からお詫び致します。

したがって、令和三年度の収支決算と令和四年度の収支予算は聖徒団の役員会の決議をもって決定させて戴きました事をご了承下さい。

なお決議されました報告書は、お寺の玄関の入口に置いてありますので、会員の方はご覧下さい。

聖徒団の会員は年々減りつつありますので、今後ともよろしくご協力願います。

新規会員を募集致します。



蓮華寺聖徒団

団長・角田 堯淳

役員一同

『靈断』のすすめ!

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談下さい。

【ご相談料は、原則として一件につき三千円です】

『提灯』の募集!

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に掲揚します『提灯』(トローラー)を募集致します。

作成価格は八千円で年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

五月の行事

- 一日(日) 盛運祈願会 午後一時より
- 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- 必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱え、感謝の気持ちを込めてお守りを交換しましょう。
- 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。



- 十一日(水) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中
- 十三日(金) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より
 - お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
 - 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
 - どなた様も、大聖人への御報恩を忘れずに参拝しお題目とお経を唱えましょう。
- 十三日(金) 釈尊降誕会【花まつり】 午後一時より
- 十九日(木) 龍神様・七面様大祭 午後一時より
- 二十八日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より

☆奉仕のお知らせ

- 十三日(金) 花まつりの準備とお手伝い
 - ◎教宣部男女・・・午前十一時より
 - ※『花まつり』の行事は、大本堂で十三日講のお勤めの中で執り行われています。
 - どうぞ、ご参拝かたがたお手伝いをよろしくお願い致します。
- 十九日(木) 龍神様・七面様大祭の準備とお手伝い
 - ◎教宣部男女・・・午前十時より
 - ※当山客殿に於きまして、祭壇を設けて、行事を執り行いますので、お手伝いをよろしくお願い致します。
 - 奉仕部長・山田兼補 教宣部長・杉淵昌三
 - 伝道部長・小野正春

☆十三日(日蓮大聖人の月命日)の
お勤めには必ず参拝しましょう!
毎月十三日 午後一時より

角田堯専上人遷化さる

長年に渡り当山の執事長としまして勤務し、昨年四月に退職されました『角田堯専』上人が、去る三月二十一日の彼岸の中日にお去くなりになりました。世寿七十六歳でした。

昨年、退職されました時は非常にお元気で、これからは大きい行事の際にお手伝いしたいという事でしたので誠に残念でなりません。

角田上人に於かれましては、四十七年間蓮華寺檀信徒の教化の為に活躍戴きまして、誠に有り難うございました。

心より感謝致しまして、増円妙道ぞうえんみょうどうをお祈り申し上げます。

尚「通夜・葬儀」は、三月二十九日・三十日の日に、蓮華寺住職『角田堯淳』上人導師の元、当山僧侶と檀信徒の皆様と共に無事に執り行われました事を此処にご報告致します。

法号『唯信院日壽上人』



訃報

二十三年間に渡り、蓮華寺護持会の会長、また蓮華寺の総代としまして、お寺の為に尽力戴きました『山本 基』様が、三月九日に世寿九十六歳をもちましてお去くなりになりました。

昨年四月の護持会役員会では、元気なお姿で議長を務められていましたので、こんなにも早くお去くなりになるとは夢にも思いませんでした。

長年、法華経の信仰者として、檀信徒の皆様様の模範となるべく、一生懸命にお寺の為に活躍戴きました事に心から感謝致します。

お陰様をもちまして、護持会の会員も現在「四、七二八名」になるまでに発展致しました。

どうも有り難うございました。

此処に、ご冥福を祈りますと共に、生前のご功績に對しまして、お寺と檀信徒一同より厚く御礼申し上げます。

『山本 基』様誠に苦勞様でした。

*法号『壽光院法基日善居士』 靈位

龍神様・七面様大祭

五月十九日 (木)

午後一時より

於：蓮華寺客殿



七面天女



- * 龍神様・七面様の御神体ごしんたい、掛軸の御法楽 (二千円)
- * 一般御法楽 (千円)、祈願 (八百円)
- * お供物も受け付けています。
- * 祈願・御法楽をお申込みの方にお札ふだを差上げます。